## 練馬区 報道連絡メモ 送付日 2016年1月23日

区長室 広聴広報課 広報戦略係 電話 5984-2693

Yori Dori Midori

## マット防災講演会 🦠



~「災害が起こったら、うちの猫はどうしよう」を開催~

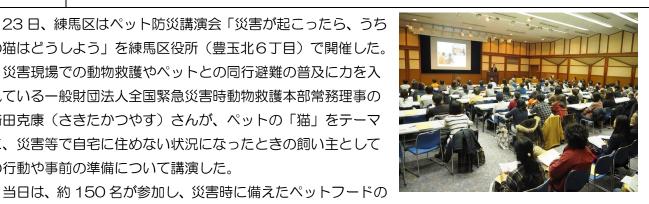
1月23日(土) 午後2時~4時

ところ

練馬区役所本庁舎地下2階多目的会議室(豊玉北6-12-1)

の猫はどうしよう」を練馬区役所(豊玉北6丁目)で開催した。 災害現場での動物救護やペットとの同行避難の普及に力を入 れている一般財団法人全国緊急災害時動物救護本部常務理事の 﨑田克康(さきたかつやす)さんが、ペットの「猫」をテーマ に、災害等で自宅に住めない状況になったときの飼い主として の行動や事前の準備について講演した。

当日は、約150名が参加し、災害時に備えたペットフードの 備蓄など日頃からの準備や、避難所での過ごし方のポイントにつ いて熱心に聞き入っていた。



【講演の様子】

2匹の猫を飼っている参加者は、「災害時に飼い猫が迷子になってしまうなど、他人事ではないと思って 参加した。普段から水やドライフードなどの準備をしていたが、それだけでは足らないことが分かった。 今日の講演を参考に改善していきたいです。」と話してくれた。

なお、練馬区は災害発生時、自宅が危険であればペットと共に避難所(区立小中学校)に「同行避難」 をすることとしており、今後も災害時のペット対策について普及啓発や対策を進めていく。

## 【災害時のペット対策 ~普及啓発・対策推進が急務~】

練馬区では、大災害が発生したとき、自宅が危険であればペット同 伴で避難施設(区立小中学校)に避難することとしている。動物が苦 手な人や、動物アレルギーがある人の避難も想定しており、人間とペ ットが共存できる避難所の運営が、大きな課題である。

しかし、「ペットを連れて避難所に行ってはいけない」と考えてい る飼い主や、逆に、「何も備えをしなくても避難所でペットの面倒を 見てくれる」と思っている飼い主もいるのが実情であり、災害時のペ ット対策に関する普及啓発と対策の推進が急務となっている。



【熱心に講演を聞く参加者】

## 【練馬区災害時ペット管理ボランティア】

区は、平成25年6月、動物に関する知識や経験を持ち、災害時のペット対策の中心を担う人材「練馬区 災害時ペット管理ボランティア」の募集を他区に先駆けて開始した。同ボランティアは災害時、ペットを めぐる混乱を防ぐため飼い主の方とともにペットを適正管理し、動物が苦手な方に影響がないように活動 する。

現在、区民を中心に19名が登録し、区が実施する研修や避難拠点の会議、防災訓練に参加するなど、日 頃から災害時の活動に備えている。

【問い合わせ】健康部 生活衛生課 管理係 ☎ 03-5984-2483